

貸し出し冊数50万冊に

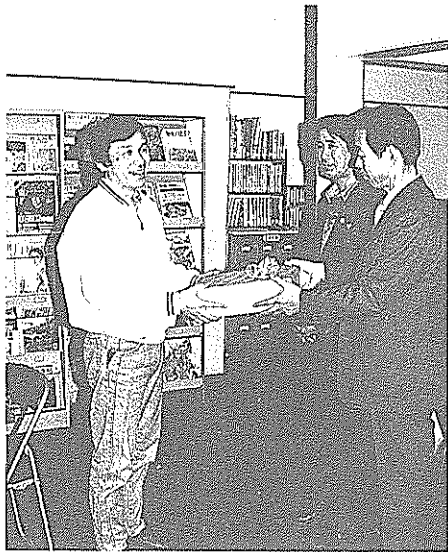
長沢さんに記念品

市立図書館（長尾征洋館長）の貸し出し冊数が、二月十六日、五十万冊を突破、五十万冊目を借りた後免町の長沢尚宏さん（文具店経営）に記念の盾が贈られました。

万冊と充実し、貸し出し冊数も一日平均百五、六十冊と、五年当時の倍以上に。前日の十五日には四十九万九千九百十二冊になっていました。

市立図書館は、昭和五十四年九月に旧水道局庁舎を利用して開館。以来十年余り、当初六千五百冊であった蔵書は現在約四

念品を手渡された長沢さんは、「いつも利用していますが、まさか五十万冊目を借りるとは」と驚いていました。



記念品を受け取る長沢さん

六十二年十月に開設した移動図書館の貸し出し冊数も十萬冊に上り、長尾館長は「今後も市民に親しまれる図書館を心がけていきたい」と話しています。

30周年を祝って記念式典



連合青年団

結成30周年に

今後の活動に決意新た

南園市連合青年団（東條勝彦団長、団員六十六人）が結成三十周年を迎え、二月十一日に関係者五十人余りが出席して記念式典が行われました。

連合青年団は昭和三十五年二月に九地区青年団の連合組織として誕生。構成メンバーは、高卒から三十歳までの青年で、交通安全のPRや市内の清掃、各地区の盆踊りなどの活動を行っています。年々団員が減少、組織としての活動が困難になってきています。

OBからは「我々のころと比

べると青年を取り巻く環境も変わり、青年団活動に魅力が見いだせなくなつて団員が減つているのでしようが、活動が物足りない。地域の文化の振興や地域おこしを考えるなど、もっと地域に密着した活動を」という声

ごみの自家処理で

美しい環境を

焼却炉をあつせんします

ごみを減らして環境美化に一役。市ではこのほど、可燃ごみの自家処理を推進しようと、家庭用焼却炉をあつせんすることになりました。

家庭から出される可燃ごみの量は、一人当たり年間一五七・六tで、年々増加しています。このごみの量を少しでも減らすと、六十二年から生ごみ処理用のコンポスターのあつせんを行つており、元年までに二千個が一般家庭に普及。ごみ処理量の増加に若干歯止めがかかるなどの効果が出ています。

生ごみ同様家庭のごみで多いのが、紙類など。これらの自家処理を進めようと、焼却炉を二

も出ています。

この日の式典であいさつに立った東條団長は、「団員の確保に努め、伝統ある青年団がさらに発展するようがんばっていきたい」と決意を新たにしています。

千円の補助であつせんすることになったもの。自己負担額は四〇割のもので五千円、一〇五割のもので三万三千円です。

この焼却炉は、昭和六十二年高知県発明くふうコンクールで高知市長賞を受賞した作品の改良型で、従来のものに比べ、耐久性があり、容量も大きくなつています。

四月末まで注文を受け付けていますので、ご希望の方は各地区の衛生委員までご連絡ください。なお、三月末まで市役所玄関に見本を展示してあります。

詳しいことのお問い合わせは、市生活環境課（☎2111内線341）まで。